



子どもたちにきれいな海を見て 自然を感じてほしい

Clean the coast

西本 和弘 さん

ボランティア団体「宇和島7.7」で、災害の復興ボランティア活動に参加し、今も土のう作りや耕作放棄地のかんきつの収穫などの活動を行っています。



土のうを積み上げ、園地の応急処置を行います

西本さんがボランティア活動してきた宇和島7.7の仲間と始めたブルーサンタという海岸の清掃活動が今年も行われました。この活動を始めたきっかけは、孫と訪れた海岸で見たごみを何とかしたいという想いでした。

西本さん自身、海岸育ちということもあり「海はきれいなもの」という意識から、その光景を受け入れられませんでした。自然から生まれた食べ物のごみなどは時間と共に分解されていきますが、プラスチックなどのごみは分解されずそのまま残ってしまいます。しかし「私たちの生活と共にある海に生活の場からごみが流れ出て、



さまざまなごみを手作業で拾います

環境や景観を傷つけているという現状を変えていく必要がある」と西本さんは話します。

ブルーサンタの活動に参加する人も少しずつ増え、ごみの量は減ってきていますが「意識の面ではまだまだ活動を広めていく必要がある」と西本さんは感じています。そのため講座やワークショップなども今後開催できればと考えているそうです。

「少人数でも誰かがやらないといけない。今は活動の種をまく時期という気持ちで地道な活動を続けることが大切」とこれからの世代へきれいな海を残していくことを願い、活動をつなげていきます。